

## 「人」がつなぐ、「人」をつなぐ。

神戸市出身の私にとって、どこもなく故郷に帰ってきたかのような懐かしい感覚で、横浜市に赴任しています。ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック等の世界が注目するイベントも控え、ダイナミックな動きを目の当たりにしながら、大きく2つの仕事をしています。

1つは、文化観光局、健康福祉局、教育委員会等、担当局の重要施策について施策調整をすること。行政課題が複雑化している今、各省庁に絡む施策を俯瞰して調整するバランス感覚が求められています。

もう1つは、IoT、AI等の先端技術の導入や、市の政策形成においてデータを活用する取組を推進すること。ICT技術の進展によりあらゆる情報がデジタルデータ化されている今、多様な主体が持つデータを活用場面にあわせて組み合わせることで分析したり、データ基盤を通じて連携させたりすることによって、新たな価値を生み出すことが求められています。

いずれの業務においても、国と自治体、国や自治体と企業・大学・民間団体、自治体と自治体等が一致団結して行政課題を解決していく柔軟な発想が不可欠であり、人と人とのつながりで成り立っています。総務省の強み―「人」のつながり―を一層活かせる時代になったと感じています。総務省は、全国の自治体や他省庁でも活躍されている魅力的な先輩方や同僚との強い結束に加え、多岐にわたる現場で築いた経験や人とのつながりを抛り所として、成長しながら活躍できる、そんな職場です。

プライベートでは、エネルギーに満ちた小学生の息子が二人います。仕事を理解し、応援してくれる家族はもちろんですが、総務省には、仕事と育児を両立して輝いている女性職員や、積極的に育児に携わっている男性職員もたくさんいて、とても心強く感じています。

総務省の門を一度叩いてみてください。きっと心に響く出会いがあるはずです。

## 岡山の中山間地域から日本の将来を考える

我が国は本格的な人口減少社会に突入し、その危機感が社会全体で急速に共有されるようになってきました。特に、中山間地域をはじめとするいわゆる条件不利地域の自治体では、少子高齢化と過疎化の進行により急激な人口減少に見舞われており、現在、私が赴任している岡山県美咲町もそのような自治体の一つです。

美咲町は、岡山県のほぼ中央部に位置する人口1万4000人ほどの町です。町の面積の約7割が森林で、町内から「日本の棚田百選」に2か所が選ばれるなど、中山間地域ならではの自然環境の豊かさが特徴です。しかし、約30年後の2045年には人口が約8000人と4割程度減少し、高齢化率も50%近くにまで高まると推計されています。

このような状況の中、国から初めて美咲町役場に派遣された私に課せられた役割は、12月に就任された新町長の下、人口減少に対応した行政基盤の構築と新しいまちづくりのランドデザインを描き、それを実行に移していくことです。美咲町は小さな自治体ではありますが、急激な人口減少の中、役場内の組織改革、防災対策、公共施設整理・統合、地域コミュニティの維持、学力向上etc.と多岐にわたる課題を抱えており、「課題先進国」と呼ばれる我が国の中でも「課題先進地」と言えます。これらの課題は一朝一夕に解決できるものではありませんが、霞が関を離れ、現場で向き合うことができるのは、国家公務員として、また総務省職員として日本の将来を考えていく上で大変貴重な経験であると感じています。

総務省は、行政管理、地方自治、情報通信という幅広い業務を通じ、いつの時代においても揺るがせにできない「国家の基盤」づくりを担っています。我が国の将来には様々な困難が待ち受けていますが、そんな中にあっても国を支えたい、そういった熱い思いをお持ちの方、是非私たちと一緒に働いてみませんか。



横浜市主催「共創オープンフォーラム・ヨコハマ」にて

横浜市政策局政策部  
データ活用推進等シニアディレクター

## 岡崎 洋子

Youko OKAZAKI

平成 17年 4月 総務省採用  
同 自治行政局公務員部公務員課  
8月 和歌山県総務部総務管理局市町村課  
平成 18年 4月 同 財政課  
平成 19年 4月 総務省自治行政局合併推進課  
7月 同 (併任)行政評価局年金記録確認中央第三者委員会事務局  
平成 20年 4月 同 自治税務局都道府県税課  
6月 内閣府官民競争入札等監視委員会事務局  
平成 21年 8月 総務省大臣官房秘書課(第一子、第二子育児休業)  
平成 26年 4月 同 自治行政局公務員部福利課  
平成 27年 7月 内閣府政策統括官(経済社会システム担当)付参事官  
(共助社会づくり推進担当)付  
(併任)参事官(財政運営基本担当)付参事官補佐  
平成 28年 1月 個人情報保護委員会事務局総務課課長補佐  
平成 29年 4月 総務省自治大学校教授  
平成 30年 7月 現職



美咲町長、地域おこし協力隊の方々(筆者左)

岡山県美咲町政策推進監

## 山本 翔紅

Shoki YAMAMOTO

平成 24年 4月 総務省採用  
同 行政評価局評価監視官付  
平成 25年 7月 内閣官房行政改革推進本部事務局局長  
平成 26年 7月 同 行政評価局企画課総括係長  
平成 28年 5月 同 行政管理局主査(独立行政法人評価総括)  
平成 29年 7月 同 統計局統計調査部調査企画課総括係長  
平成 30年 7月 現職



英政府関係者との打ち合わせ後に英国首相官邸前にて

在英国日本国大使館一等書記官

## 中野 芳崇

Yoshitaka NAKANO

平成 18年 4月 総務省採用  
同 行政管理局企画調整課  
平成 19年 9月 同 行政管理局企画調整課行政手続・制度調査室  
平成 20年 7月 同 情報流通行政局情報流通振興課制度係長  
平成 22年 7月 同 総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政課企画係長  
平成 23年 9月 英国留学(ロンドン大学(UCL)、ヨーク大学)  
平成 25年 8月 内閣官房内閣総務官室国会専門官  
平成 27年 10月 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局局員参事官補佐  
平成 30年 7月 現職



シンガポール・マラソンにて

夫とマレーシアにて

(一財)自治体国際化協会シンガポール事務所調査役

## 田中 里沙

Risa TANAKA

平成 19年 4月 総務省採用  
同 自治財政局地方債課  
8月 兵庫県企画管理部企画調整局市町振興課  
平成 20年 4月 同 企画県民部企画財政局財政課  
平成 21年 4月 総務省大臣官房総務課  
平成 22年 4月 同 自治税務局固定資産税課  
平成 24年 4月 地方公共団体金融機構資金部資金課  
平成25年 8月 横浜市総務局しごと改革推進部しごと改革推進課  
プロジェクトマネージャー  
平成 26年 8月 同 総務局しごと改革推進部しごと改革推進課担当課長  
(社会保障・税番号制度担当)  
平成 27年 4月 同 総務局しごと改革室行政・情報マネジメント課  
マイナンバー制度準備担当課長  
平成28年 4月 内閣官房番号制度推進室参事官補佐  
平成 30年 4月 現職

## 無限のフィールドでなすべきことをなし、 なりたい自分に

今、英国において、外交官としてEU離脱を始めとする英国の内政に関する情報を収集・分析する業務等に取り組んでいます。英国は、我が国がその政治・行政制度をしばしば参考にしてきた国と言えるかもしれませんが、近年、様々な課題に直面し、EU離脱を始め大きな転換点を迎えているようにも感じています。

入省以来、総務省や内閣官房において、行政管理、情報通信、地方創生等、分野横断的でリーチが長く、やりがいのある様々な業務を担当することを通じて、特定の分野に限られないものの見方や改革マインドを培う機会に恵まれたと感じています。

また、前例のない新たな政策課題や他省庁の所掌分野に深く関係する政策課題に対しても、その課題の解決を目指して強い信念を持ち、人一倍の努力で知識を吸収し、関係者と協力関係を築き、新たな政策の企画立案に貢献する上司や同僚と共に働く中で、総務省職員として働く上では、必要な知識を身につけることに加えて、強い信念を持ち、人間力を鍛えることが何よりも重要なのではないかとこの思いが一層強まっています。

ここに英大使館において激動の英国政治に向き合う中でも、必要な知識や接する関係者は多岐に渡り、これまで総務省職員として積み重ねてきた経験や知識の幅を広げ、人間力を鍛えるまたとない機会であるとも考えています。

東京、地方、世界各地で、やる気さえあれば何でもできると言っても過言ではないこの無限のフィールドで、日本を、世界を少しでも良くしたいという想いの下、共に挑戦できる日を楽しみにしています。

## 果てない挑戦。

10年前、当時入省3年目、総務省大臣官房で各種政策のとりまとめに奔走していた私は、自治体(兵庫県庁・横浜市)や金融機関、内閣官房(マイナンバー制度担当)での勤務を経て、今、シンガポールにてASEAN10ヶ国・インド・スリランカを舞台に新たな挑戦をしています。

待ったなしの少子高齢化を伴う人口減少の流れの中、日本各地の自治体は、現状や将来の課題をどう乗り越えるべきか。そこで注目されているのが、平均年齢20歳代の国が多く、今後の成長が見込まれるASEAN各国等に対する、観光インバウンドや地域の物産のPR、地元中小企業の進出といった自治体間の国境を越えた経済交流です。こうした自治体の取組のサポートが私の仕事です。

ASEAN各国等は、宗教や文化が異なるだけでなく、社会が抱える課題も多様です。インフラ整備が課題の国もあれば、経済の急成長による人材不足が課題の国もあり、また、タイやシンガポールのように日本と同様の少子高齢化を迎えている国もあります。その中で、日本の自治体はどう戦略的に経済交流を展開するか。どのように相手国のニーズを敏感に捉えて最適解を実現するか。考える中で「この件は兵庫県庁のあの先輩が詳しいな」、「日本のマイナンバー制度のここが参考になる」と、私のこれまでの経験が生きています。全ての経験は有機的につながり付加価値を生み出すとを感じる瞬間です。

日本の地方自治を支える総務省職員だからこそ活躍できるこのフィールド。数十年先の日本とASEAN各国等を想うと、私の挑戦は尽きません。そして、私の挑戦は仕事だけではありません。週末は在マレーシア日本国大使館勤務の主人と、マレーシアかシンガポールか第三国かで待ち合わせするという、新しい夫婦の時間を楽しんでいます！

総務省の扉の向こうには、あなたにだけ新しい挑戦が待っているでしょう。